



第47回
地域医療連携フォーラム
開催報告

不安を、地域でほどく。 — 支え合う医療連携の“持続可能モデル”へ —

2026年2月21日(土)、当院外来がん治療センター内コンベンションホールにて「第47回 地域医療連携フォーラム」を開催いたしました。本フォーラムの開催は2019年以来、7年ぶりとなります。当日は約360名の皆さまにご来場いただき、会場は満員御礼となりました。地域医療連携フォーラムは、今日の医療が抱えるさまざまな課題について、地域の医療関係者の皆さまとともに考えることを目的として開催しております。

今回は「不安を、地域でほどく。— 支え合う医療連携の“持続可能モデル”へ —」をテーマに、以下4名の演者をお迎えしてご講演いただきました。

- 上益城消防本部 警防通信指令課長 緒方 秀一様
- 医療法人社団清心会 春日クリニック 理事長 清田 武俊先生
- 医療法人社団東陽会 東病院 理事長 東 謙二先生
- 特定医療法人谷田会 谷田病院 理事長 谷田 理一郎先生

先生方からは、救急搬送の現状や現場で直面している課題、医学的重症度と患者さんが抱える不安とのギャップ、上り・下り搬送を強化する必要性、夜間・休日における地方医療の限界などが共有され、それぞれの立場から地域医療の現状と課題についてご講演いただきました。

最後に済生会熊本病院 院長 中尾浩一より、各演者の先生方の声を真摯に受け止め、救急隊や患者さんの不安に応える医療の実現、地方の医療リソースを踏まえた受入体制の構築を通じて、地域全体の不安をともに解消していきたいという「済生会熊本病院のこれから」について述べられ、フォーラムは締めくくられました。

開催後のアンケートでは、「魅力的なフォーラムに参加でき、大変感謝しています。それぞれの立場の方の意見は、普段なかなか聞くことができず、非常に考えさせられました」「身近な課題をわかりやすく説明していただき、さらに迅速な改善策も提示され、とても勉強になりました」「看護師ですが、かなり身が引き締まりました」など、多くの好意的なご意見をいただき、本フォーラムが有意義な場となったことを実感しております。

地域医療のさらなる発展に寄与できる場として、今後もフォーラムの開催を継続してまいります。

[サイクル]

済生会熊本病院 連携広報誌

vol. 113

2026.March

s a i k u r u

明日へつながる、より確かな医療連携をめざして。



「発症させない」管理
病診連携による
心不全患者を
地域で護る



「発症させない」管理
病診連携による

心不全患者を 地域で護る

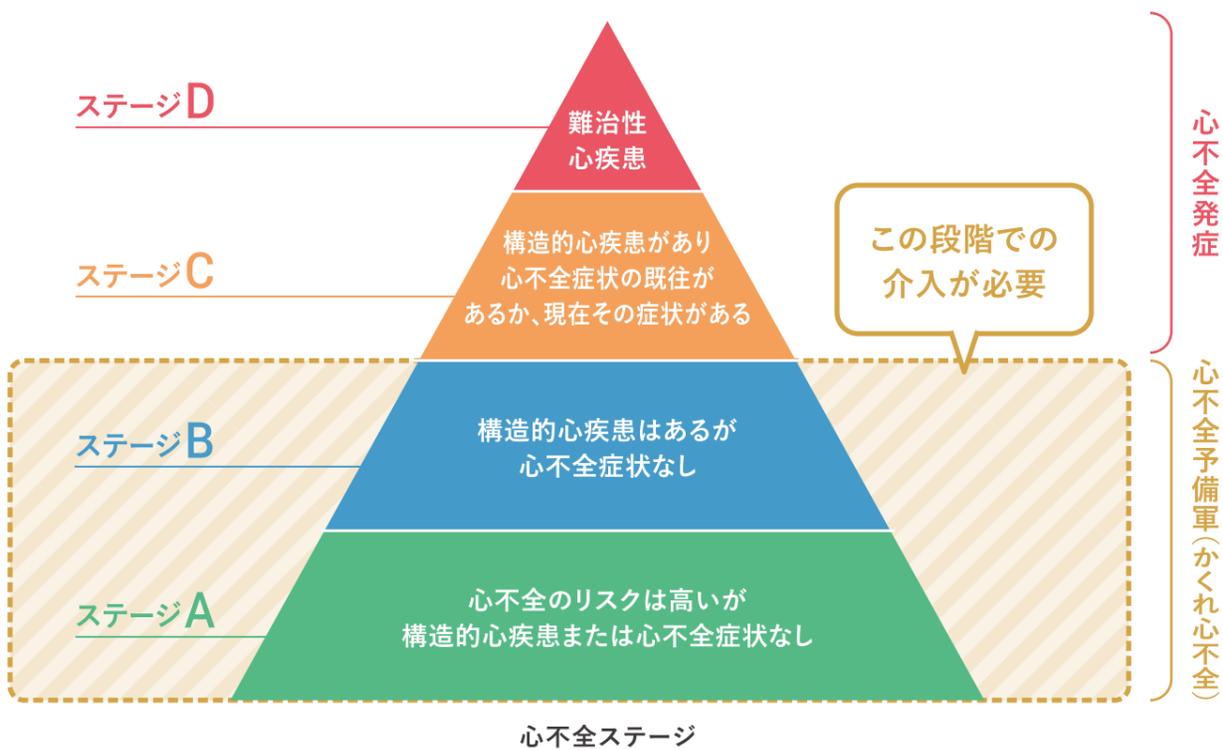


今、なぜ「予防」なのか

2026年2月5日、日本心不全学会は急増する心不全患者に対し、専門医だけではなく非専門医でも使える実践的な予防指針を示すことを目的に「心不全予防に関するステートメント」を発表しました。

心不全を一度発症する(ステージC)と1年以内の再入院率は約60%と高く、入退院を繰り返しながら次第にQOLが低下していきます。この連鎖を断ち切るには、危険因子はあるが無症候期である「ステージA」および「ステージB」の段階での早期介入が最も効果的です。

ステージAおよびBの段階の心不全症例は、循環器専門医ではなく、かかりつけ医による心不全の発症リスクとなる疾患(高血圧やCKD、糖尿病など)の管理が行われている可能性が高く、今回のステートメントでは非専門医による「NT-proBNP/BNPの定期的な検査による病態の把握の重要性」と「生活習慣病管理こそが心不全予防である」ことが明確に示されました。



ステージA
(心不全リスク)

高血圧、糖尿病、CKD、肥満など。心臓の構造的異常はないが、**背景疾患がある状態。**

ステージB
(前心不全)

無症候だが、左室肥大や弁膜症、心房細動などの構造的・機能的異常がある、または**NT-proBNP/BNPが高値の状態。**

ステージB(前心不全)への移行を見逃さない

ステージA(心不全リスク)

対象となる疾患群

高血圧、動脈硬化性疾患、
糖尿病、慢性腎臓病、肥満 など

エヌティープロビーエヌビー
年に1回のNT-proBNP測定

125を超えたら
当院を含む循環器専門医に紹介



今回の心不全予防ステートメントは非常にシンプルなメッセージであり、saikuru誌面をお借りして情報を共有させていただきました。

現在はSGLT2阻害薬やARNI、フィネレノン、GLP-1作動薬などステージC移行の予防のための手段が充実して参りました。ご紹介いただいた際はこれらの薬剤による心不全発症予防を提案し、逆紹介させていただきますので、引き続きフォロー(年2回の心不全マーカー測定)をお願い致します。

なお今回ご紹介した心不全マーカーですが、当院では2026年2月よりNT-proBNPに完全移行しました。

副院長 / 循環器内科上席部長 坂本 知浩